

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	47	事業名	幼児教育振興プログラムの策定・運用		担当課	保育幼稚園 指導課・学務課
計画内容		幼稚園の整備状況及び地域の実情等を考慮し、公立幼稚園の適正配置、公・私立の選択肢の拡大など、本市の幼児教育の振興に関する政策プログラムを策定・運用を図ります。 平成15年度実績 検討 平成21年度目標 策定・運用				
平成20年度 実施状況と評価		<p>【幼稚園教育の振興】</p> <p>* 保育幼稚園課 3歳児保育：青葉幼稚園、堀江幼稚園、入船南幼稚園の3園2学級ずつ実施（1学級20名定員） 預かり保育：実施3園の定員50名で実施 幼稚園と保育園の連携の推進：統一カリキュラム策定に向け資料作成 私立幼稚園誘致：高洲地区1園4月開園</p> <p>* 学務課・指導課 幼稚園教員の資質向上：計画的な研修会の実施 幼稚園小学校の連携の推進：幼（保）小連携教育推進パンフレット作成・配付</p> <p>【幼児期の家庭教育および地域釈迦における子育て支援の充実】</p> <p>* 保育幼稚園課 子育てすこやか広場：開催数及び相談事業内容の充実</p> <p>評価</p> <p>* 保育幼稚園課 実施にあたっては、本市の平成14年8月の報告書「新しい時代の幼児教育の環境づくりについて」の提案をもとに、幼児教育の環境整備を進めており、それに沿った具体的内容は「私立幼稚園の誘致」「預かり保育の拡充」である。 しかし、19年度より「公立幼稚園の3歳児保育」が実施されるなど、報告書内容から実施内容に変更が生じている。今後、計画の見直しが必要である。</p> <p>* 指導課・学務課 幼稚園教員の資質向上：中堅教員の研究を充実させるために実施してきた研修も、4年目を向かえ当該教員のほとんどが受講し、各自及び各園の実践にいかすことができた。 幼稚園小学校の連携の推進：昨年度まで連携教育に取り組んできた、幼稚園・小学校を幼保小連携教育協力校に指定し、連携教育に取り組んだ。（入船地区においては、初めて保育園も加わった。） その中で、保育園、幼稚園、小学校の教師が、互いの保育授業を参観し、教師間の相互理解（幼児・児童理解や指導方法・指導内容の理解）の機会をもつことができた。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題		<p>* 保育幼稚園課</p> <p>【具体的な内容】 「3歳児保育」は見明川、美浜南を加えた実施5園各2学級となり、今後の拡充に向け準備を行う。 「預かり保育」は実施3園、50名定員で行っているが、今後内容の充実を図る。 「幼稚園と保育園の連携」は前期終了時ころ、「幼保統一カリキュラム策定予定」。</p> <p>【今後の課題】 文部科学省は「幼児教育振興プログラム」（実施期間平成13年度～17年度）を平成13年3月に定め、その後「幼児教育振興アクションプログラム」（実施期間平成18年度～22年度）を平成18年10月に定めており、本市においては、浦安市幼稚園教育のあり方検討委員会が平成14年8月に報告した「新しい時代の幼児教育の環境づくりについて」が、幼児教育振興の一つの資料となっている。しかし、ここ数年で浦安市の幼児を取り巻く環境は大きく変化している。今後は、幼稚園のみならず保育園を含め、幼児期の教育環境や内容について検討する中で、浦安市の幼児教育振興プログラムを策定していく必要がある。 その為、所管の見直しや策定・運用の年次の見直しも必要である。</p> <p>* 学務課・指導課 幼稚園教員の資質向上：中堅教員層の研修だけでなく、各経験層の研修を充実させる。 幼稚園小学校の連携の推進：幼保小連携教育推進協議会で作成した接続期のカリキュラムを実践を通して見直ししていく。さらに、教師間の、年間を通じた保育・授業参観を指導計画の中で位置づけていくなど、連携のあり方を全市的に広めることを目指し、研究を進めていく必要がある。</p>				

事業番号	48	事業名	小学校及び中学校の整備	担当課	学務課 (教育施設課)
計画内容	住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、学校の整備に取り組み、教育環境整備を推進します。				
	平成15年度実績	小学校14校・中学校7校	平成21年度目標	小学校17校・中学校8校	
平成20年度 実施状況と評価	小学校 17校 中学校 8校	児童数 10,757人 生徒数 3,469人	学級数 329学級 (特別支援学級 13学級) 学級数 101学級 (特別支援学級 7学級) (平成20年5月1日現在)	第2次学校適正配置等検討委員会議 3回開催 (ただし年度内5回開催予定) 同上(内部委員会として)部会の開催 4回開催 (ただし年度内6回開催予定) (平成21年1月21日現在)	
平成21年度 事業予定と 今後の課題	第2次学校適正配置等検討委員会を立ち上げ、年度内5回の検討会議を開催し、報告書を策定した。 検討委員会では今後10年間を見据えた学校適正規模の見直しとその取組及び適正配置の整備計画案を策定し、今後の方向性を年度末に報告書の形としてまとめた。 市内小中学校の規模の現状と課題の整理、市内幼稚園・保育園・小・中学校の保護者及び自治会長、学校評議員およそ3,000人からのアンケート調査及び分析を実施し検討してきた。 本検討委員会は20年度末で解散し、引き続き報告書をもとに適正配置整備計画案の具体的な推進についての検討委員会を立ち上げ適宜開催し検討していく予定である。				

事業番号	49	事業名	少人数教育の実施	担当課	指導課
計画内容	チームティーチングや少人数指導などによるきめ細かな学習指導を行い、児童生徒一人ひとりに応じた学習指導の充実を図ります。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	市立小・中学校25校全校に、少人数教育推進教員を各校1～4名計69名(中途退職や中途採用を含めた現在数)を配置した(学務課)。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導の推進に貢献している。 また、少人数教育推進教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間5回開催するとともに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しをもった計画な取り組みとその進捗状況把握ができるようにしている。 市費少人数教育推進教員がT1として指導にあたり、単独で少人数指導にあたりする点での改善が見られる。具体的には、習熟度別指導を“常時した”と“よくした”の小計の割合が46%、その他の少人数指導(単純分割など)を“常時した”と“よくした”の小計の割合が51%であった。また、チームティーチングの際、“T1として指導した”割合が64%であった。 加えて、「困っていることや悩んでいることを聞いたり」や「休み時間に一緒に遊んだり」したことに関しては、「悩み聞いた」「常時した」割合が39%、「休み時間一緒」「常時した」と“よくした”の小計の割合が80%と、当該教員が児童生徒との関係においてより親密な人間関係を築くために努力し、生徒指導上も貢献していることが伺える。 今後は、当該教員活用の点で学校間での取り組みの差を少なくすると同時に、各校少人数指導のビジョンを明確にしていくこと、また、形式的・固定的な授業のマンネリ化を防ぎ、さらに児童生徒の実態や学習のねらいなどに応じた、より効果的な指導方法の工夫を検討していくことが必要である。また、少人数教育推進教員の人材確保が課題である。毎年、少人数教育推進教員の多くが県費教職員採用試験を受験し、約半数が退職している。その上、全国的な少人数指導の実施に伴い、少人数教育推進教員の人材確保が一層困難な状況になってきている。				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	少人数教育推進教員の人材確保にむけて、関係大学への訪問等により、関係大学への協力要請を強化していきたい。(学務課) 学校訪問や各種研修会等を通して、各学校の実情を踏まえつつ、県費教員と連携したより効果的な指導方法の工夫改善に向けて指導・助言したい。(指導課)				

事業番号	50	事業名	小規模学校選択制度の実施	担当課	学務課
計画内容	<p>「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、保護者や子どもが入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を導入・実施します。</p>				
	平成15年度実績	計画		平成21年度目標	実施
平成20年度 実施状況と評価	<p>平成21年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象者へ学校紹介パンフレット発送（小学校 約1,900人、中学校 約1,700人） 2 学校公開日設定（10月中、約3週間） 受入可能校 小学校～浦安小、美浜南小、入船北小、入船南小、美浜北小、明海小 中学校～見明川中、美浜中 3 平成20年度選択制度利用者 小学校 39名、中学校 191名 <p>平成15年度より実施している本制度について、お子さんや保護者が、自分に適した教育を受けたい、或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望を生かすため、学校選択の機会を拡大することというねらいは周知されていることから、その利用率は毎年安定的に推移してきている。今後の受け入れ学級数については学校ごとの教室数等を勘案しながら決定していく。 また、各学校がよりよい教育を実践しようと創意工夫を図り、特色ある学校づくりを推進していくというねらいも、学校紹介パンフレットや学校公開等を通して浸透してきている</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく予定だが、学校規模、受け入れ時の時期や方法等も課題となっており、今後検討していく。</p>				

事業番号	51	事業名	職業体験学習の整備・推進	担当課	指導課
計画内容	<p>生徒が地域における職業体験を通して働くことの尊さと意義に気づき、一人ひとりの夢と希望を育み、自己の将来について真剣に考える態度を養うことを目的に、職業体験学習を行います。</p>				
	平成15年度実績	-		平成21年度目標	整備・推進
平成20年度 実施状況と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市立各中学校(8校)の職場体験学習の実態把握 (職場体験を実施している学校:8校) ・市立各小学校(17校)の職業見学の实態把握 (実施している学校:10校) ・キャリア教育推進委員会を年間2回実施 <p>「職業見学」や「職場体験」については、各小・中学校で計画・実践されているのが現状である。各学校での取り組みにおいて、教職員や保護者の協力により体験場所を確保している。市役所や市の公共施設でも多くの職場体験を受け入れている。しかし、教職員や保護者、また受け入れる事業所への負担となっていることも実情として挙げられる。 文部科学省や県教育委員会の「キャリア教育実践プロジェクト」の実施によって、中学生の5日間の職場体験(「キャリア・スタート・ウィーク」)や小学生の職業見学(「ゆめ・仕事ぴたり体験」)の実践が求められている現状から、今後は、体験場所の確保や日程の重複等避けるためにも、各小・中学校の職場体験の計画や運営を支援する方策を検討し、学校・保護者・地域及び教育委員会の連携による新たな組織づくりの研究が必要である。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>各小・中学校の職業見学や職場体験学習の現状把握の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習に協力している企業、店舗、公共機関・施設への意識調査等、現状の分析 ・キャリア教育との関連を踏まえた指導計画の作成と受入事業所の調整に関する方策 				

事業番号	52	事業名	いちよう学級(適応指導教室)の設置	担当課	指導課
計画内容	<p>学校に行きたい気持ちがあっても行けない子どもたちに、学習・小集団活動の指導・援助を行う、不登校児童・生徒のためのいちよう学級（適応指導教室）を設置します。</p>				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校の不登校児童生徒のうち本人、保護者、学校で協議し、通級を希望する児童生徒を受け入れている。</p> <p>適応指導教室は、不登校児童生徒の学校復帰を目的に、カウンセリングや学習指導、集団活動、体験活動等を実施して、自己決定力の育成を支援・援助し、集団生活への適応能力を育成している。</p> <p>不登校は学校復帰を果たしたといえども、当該児童生徒が義務教育を終了するまでを見なければならず、単に数字を比べることで評価とするべきものではない。通級生の増減についても一概に評価できない要素を含んでいる。</p> <p>しかし、現在、通級生は学習や体験活動を通して小集団の生活に適應できるようになっており、適応指導教室が通級者の居場所としての意義は大きい。</p> <p>20年度実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級者数 18名（小学生 2名、中学生 16名） ・復帰者数 6名（小学生 2名、中学生 4名） 				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく。</p> <p>適応指導教室を必要とする児童・生徒が情報を得られるよう、今後とも保護者、学校に周知していきたいと考えている。</p>				

事業番号	53	事業名	いじめ110番の設置	担当課	指導課
計画内容	<p>いじめ予防とその防止及びいじめ問題の早期解消を図るため、教育委員会に「いじめ110番」専用電話を設置します。</p>				
	平成15年度実績	32件	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>現在、各学校では、いじめの早期発見・早期対応の体制づくりやアンケートの実施、「いじめゼロキャンペーン」等の児童・生徒による活動等、さまざまな対策を講じており、その成果として相談件数は少なくなっていると考えられる。</p> <p>相談者やその内容については多様化しており、他市からの相談や成人青年の相談なども見られる。ゆえに、本事業では、相談者の意向を踏まえながら学校や他の相談機関との連携によって、それぞれの事案に応じた対応を図っている。</p> <p>学校や家庭での不満や要望に対してあらゆる場面で対処し、関係各機関が連携しながら対応することは、児童・生徒の健全育成を図る上で重要なことである。その意味では、今後とも必要な事業であると言える。</p> <p>20年度相談実績（平成21年3月末日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 16件（述べ回数27回） ・相談内容 <ul style="list-style-type: none"> 言葉での脅し 1件 冷やかし、からかい 4件 仲間はずれ 4件 集団による無視 1件 暴力を振るう 2件 その他 2件 いじめ以外 2件 ・相談対象 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園児 1件 小学生 5件 中学生 7件 高校生 2件 その他 1件 				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>本事業は、児童・生徒の健全育成を図ることを目的としており、そのために相談内容に応じて関係機関との連携による対応をしている。このような事業の性質上、数値として目標を設定することはその目的にはそぐわないと言える。より多くの市民に本事業を周知し認知してもらうこと、関係各機関と情報を共有するとともに有機的な連携による対応の促進を図ることが重要である。</p>				

事業番号	54	事業名	青少年ボランティア育成事業	担当課	社会福祉協議会
計画内容	さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。				
	平成15年度実績	ヤングボランティア体験教室の開催（延べ参加人数72人） 小中学校等でのボランティア体験教室協力（18か所） 夏休みボランティア体験学習（延べ活動人数87人）	平成21年度目標	推進	
平成20年度 実施状況と評価	<p>夏休みボランティア体験説明会 20年度夏休みボランティア体験説明会参加者人数 68名（中学生31名、高校生25名、大学生10名、短大1名、他1名） 夏休みに施設等でのボランティア体験を希望する中学1年生以上を対象に、ボランティアセンターでは、ボランティアの心構え、車いす体験、視覚障害者へのガイドヘルプ体験、高齢者疑似体験や、施設訪問時の基本的マナー、受入施設の紹介といった講義を行い、実際に夏休みボランティア体験説明会参加者に施設等でボランティア活動をしてもらった。 小中学校等でのボランティア体験教室への協力 11校 夏休みボランティア体験説明会では、昨年と同数の参加となった。 今回、広報うらやす、ミニコミ誌のほか、各市内中学校、高等学校、大学あてに夏休みボランティア体験説明会開催通知を配布し、この説明会の趣旨を理解していただき、一人でも多くの学生にボランティア活動を体験してもらうことに努めた。 小中学校等でのボランティア体験教室への協力は2校の増。 学校等で行なっているボランティア体験教室の手伝いとして、ボランティアグループが協力した。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>夏休みボランティア体験説明会については、参加人数が増えた場合の受入施設の確保が困難になると予想される。</p> <p>平成15年度のヤングボランティア体験教室と夏休みボランティア体験学習をいっしょになったのが夏休みボランティア体験説明会となっている。</p>				

事業番号	55	事業名	青少年センターの相談業務の充実(再掲)	担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒及びその保護者に対する相談体制の充実を図ります。				
	平成15年度実績	相談延べ 319人	平成21年度目標	充実	
平成20年度 実施状況と評価	<p>青少年の問題行動や家庭・学校生活などに関する相談（電話及び来所）を家庭教育指導員（2名）と青少年センター相談員が受理し対応している。また、相談業務の充実のため、女性とこどものための相談機関をはじめ関係諸機関との連携を図っている。 相談対象者として義務教育を終了した者や私立学校通学者が見られる。 公立の義務教育段階にある相談機関が対象としていない方々の相談に対応することができた。</p> <p>20年度相談件数（平成21年3月末日現在） 電話相談 161回 来所相談 100回 合計 261回</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	義務教育を終えたひきこもり・ニートと呼ばれる方々へも相談の周知を図り、相談活動の一層の充実をめざす。				

事業番号	56	事業名	青少年補導員活動の実施	担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員活動を実施します。				
	平成15年度実績	青少年補導員数	102人	平成21年度目標	継続
平成20年度 実施状況と評価	<p>市内に106名の青少年補導員を委嘱し、補導活動をはじめ、非行防止に視点をおいた青少年の健全育成活動を推進している。</p> <p>地域の方に健全育成を呼びかける街頭啓発活動（6月）、補導員活動の理解を求め一日補導員キャンペーン（10月）、広報紙べかぶねの発行（2,200部×6回）、補導員資質向上のための研修会（視察・講演会等4回）、補導員相互の情報交換のための中学校区ブロック会議（4回）を実施した。</p> <p>街頭啓発、一日補導員キャンペーンでは広く市民に青少年健全育成への呼びかけを行うことができ、広報紙やホームページにも掲載し、周知を図った。</p> <p>研修会にも多くの参加を得て、ブロック会議では、地域の実態把握・計画の充実した実施に取り組むことができた。</p> <p>また、本年度は市民まつりにも参加し啓発物資の配布や会場内のパトロールを行った。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	一日補導員キャンペーンでは、さらに多くの市民の参加を求めていく。研修会・ブロック会議では、補導員のより一層の参加を推進していく。広報紙では、タイムリーな特集の充実を図る。				

事業番号	57	事業名	教育フォーラム、教育講演会の実施	担当課	指導課 教育研究センター
計画内容	子どもたちの教育について、学校・保護者・地域・行政で考えるフォーラムや教育講演会を実施します。（平成16年度より実施）				
	平成15年度実績	-		平成21年度目標	継続
平成20年度 実施状況と評価	<p>浦安の教育の充実と課題解決に向け、学校・保護者・市民・行政の連携を深めることを目的に、8月に教育フォーラムを1回、教育講演会を1回実施した。</p> <p>教育フォーラムは昨年度に引き続き「子どもたちの人間関係をどう育むか」をテーマに行った。1部では、「子どもから人間関係を奪うもの」という演題で、人間関係を奪う社会的背景に視点をあて、平成20年度に実施した生活実態調査の結果も取り入れながらご講演いただいた。1部を受けて2部では、「子どもの人間関係を学校・地域・家庭でどう育てるか」というテーマで地域の代表によるシンポジウムを行った。</p> <p>教育講演会は「子どもの人間力と学力を伸ばすには～学校・家庭・地域の役割を通して～」を演題として、教育評論家 親野智可等氏による講演会を実施した。</p> <p>・教育フォーラムは、保護者の参加人数は47名 39名とほとんど変化がなかったものの、学校関係者の参加人数が273名 192名と減少し、全体的に参加人数が減少した。実施後のアンケートでは「とても参考になった」「参考になった」と回答した割合が83%と8割は超えたものの、昨年の90%より減少してしまった。今年度のアンケート結果や反省に基づき、魅力あるテーマの設定・講師について充実を図っていく必要がある。</p> <p>・教育講演会は、保護者の要求するテーマ・講師が一致したため、保護者の参加数が32名 134名となり、昨年度よりかなり増加した。実施後のアンケートの結果も「とても参考になった」「参考になった」と回答した割合が97%もあり、好評を得た。</p> <p>今後も時代の流れにあったテーマ・講師を選んでいく必要があると感じた。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	教育フォーラムは、特に保護者・市民の参加が少ないので、保護者や市民が参加したくなるような魅力あるテーマの設定と講師の招聘、及び内容の充実を図る。また、保護者や市民への広報を積極的に行い、市民の参加数増加をめざす。				

地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	58	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館 (健康増進課 ・市民課)
計画内容	<p>出生届けの際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。</p>				
	平成15年度実績	ブックスタート絵本講座 参加者(1月～3月) 277人	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>市民課で出生届の際に記念品として絵本を配布。 その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。 講座では、絵本の与え方楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。 ブックスタート絵本講座においては、乳児を持つ保護者を対象に読書の入り口として絵本の読み聞かせの大切さ、楽しさを伝えるとともに、簡単なわらべうた遊びも紹介した。講座への参加は、その後の図書館利用、その他の集会事業への参加にも結びついている。 参加者は、昨年度同時期を若干下回った。PR方法なども検証し参加者の増加を目指してゆきたい</p> <p>平成20年度 ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 48回(毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施) 参加人数 879人</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	継続				

事業番号	59	事業名	児童集会事業の実施	担当課	中央図書館																														
計画内容	<p>お話会や読み聞かせの会、簡単な理科実験の会などを行い、子どもたちに本を読むことや知識を得ることの楽しさを知る機会を提供します。また、子どもに関わる大人(親・教師・保育者など)を対象に講演会や講座を開催し、子どもの読書の大切さへの理解を促します。</p>																																		
	平成15年度実績	延べ実施回数 513回,人数 4,794人	平成21年度目標	継続																															
平成20年度 実施状況と評価	<p>児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施した。 また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施した。</p> <p>平成20年度 児童集会事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>23回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>569回</td> <td>6,772人</td> </tr> <tr> <td>科学で遊ぼう</td> <td>2回</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>おたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>わらべうたの会</td> <td>24回</td> <td>415人</td> </tr> <tr> <td>絵本のよみきかせ講座</td> <td>2回</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>子どもの本の講座</td> <td>1回</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>など</td> </tr> </tbody> </table> <p>子どもたちに本を読むことや、知識を得ることの楽しさを知る機会を提供した。子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)に子どもの読書の大切さへの理解を促した。 ほとんどの事業において昨年度同等の参加者を得たが、参加者減がみられる事業についてはPR等を検証し、参加者の増加を図りたい。</p>						実施回数	参加人数	おはなし会	23回	120人	えほんのじかん	569回	6,772人	科学で遊ぼう	2回	54人	おたのしみ会	2回	145人	わらべうたの会	24回	415人	絵本のよみきかせ講座	2回	58人	親子で楽しむ絵本講座	6回	103人	子どもの本の講座	1回	63人			など
	実施回数	参加人数																																	
おはなし会	23回	120人																																	
えほんのじかん	569回	6,772人																																	
科学で遊ぼう	2回	54人																																	
おたのしみ会	2回	145人																																	
わらべうたの会	24回	415人																																	
絵本のよみきかせ講座	2回	58人																																	
親子で楽しむ絵本講座	6回	103人																																	
子どもの本の講座	1回	63人																																	
		など																																	
平成21年度 事業予定と 今後の課題	継続して実施。																																		

事業番号	60	事業名	図書館における児童サービス事業の実施	担当課	中央図書館
計画内容	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（親・教師・保育者など）に子どもにとっての読書の大切を伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談などを行います。また、学校等の関係機関とも連携を図ります。</p>				
	平成15年度実績	児童書の貸出し冊数	387,901冊	平成21年度目標	推進
平成20年度 実施状況と評価	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談を行っている。</p> <p>学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出しや、それぞれの施設に向いて、絵本のみかきかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施した。子どもと読書に関する講師派遣も行っている。</p> <p>平成20年度 児童書貸出冊数 499,333冊</p> <p>平成20年度類縁機関サービス実施状況 実施回数 920回 参加者数 26,150名</p> <p>児童書の貸出し冊数は前年度同時期に比して9,349冊の増加となった。類縁機関に対するサービスもほぼ前年度並みの実績を得、順調である。 中央館、分館、公民館図書室のそれぞれにおいて、地域に密着したきめ細かい対応をした成果であると考えている。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	継続				

事業番号	61	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実	担当課	郷土博物館
計画内容	<p>通年にわたり、幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもたちが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。</p>				
	平成15年度実績	37,779人	平成21年度目標	充実	
平成20年度 実施状況と評価	<p>団体利用 幼稚園：博物館展示の見学や昔遊びやべか舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 小学校：昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔す編み、べか舟乗船体験、戦中・戦後の暮らしを聞く、境川の環境学習 など 中学校：選択社会「浦安の歴史・文化・自然・昔のおもちゃ作り・郷土料理」など 総合的な学習「干潟の生き物」</p> <p>一般利用 昔遊びと生活体験：ペーゴマ、こま、竹馬、おもちゃ作り、お手玉、わらべうた、ゆかたの着付け など 体験教室：勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、ぼったら体験、浦安かるた作り、境川乗船体験 など 観察会：干潟観察会、野鳥観察会 など 季節の行事体験：七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケ など</p> <p>団体利用については、指導者との打ち合わせによって活用に対する希望を最大限度生かせるよう努力し、おおむね好評である。 一般利用については、事業により参加者数のバラつきもあることから、PR等を見直すなど改善の余地があるものとする。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	事業内容の見直しを図りながら継続的に対応				

事業番号	62	事業名	土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施		担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもたちの「生きる力」をはぐくむための各種教室や交流事業を実施します。					
	平成15年度実績	48回	平成21年度目標	継続		
平成20年度 実施状況と評価	<p>学校完全週5日制に対応した事業の実施</p> <p>*中央公民館 件数：1件 見込内容：バレンタインのチョコ作りに挑戦（単発・土曜日）</p> <p>*堀江公民館 実績件数：2件 実績内容：環境学習講座（全6回）、ファミリー料理（単発）</p> <p>*富岡公民館 実績件数：4件 実績内容：チャレンジ隊（施設見学・体験学習・調理実習など）（年7回・土曜日）、ジュニア合唱隊（年30回・土曜日）、子ども囲碁教室（毎週土曜日）、フラワーアレンジメント（単発・土曜日）</p> <p>*当代島公民館 実績件数：4件 実績内容：当代島囲碁クラブ、当代島軽スポーツくらぶ、みんなで楽しく学ぶ土曜教室、親子でみそ作り体験</p> <p>*美浜公民館 実績件数：7件（実施見込5件含む） 実績内容：作ってみよう発泡入浴剤、子どもサイエンス教室、レジ袋たこ作り体験、親子で缶響製作、親子で野鳥観察、子どもクラフト・ポーリングにチャレンジ教室（全1回・土曜日）、親子手話教室（全4回・土曜日）</p> <p>*日の出公民館 実績件数：3件 実績内容：ほん たんけんクラブ（5月～3月第1土曜日）、子どもパン作り教室（2月第2土曜日）、春の子ども環境講座2（3月第4土曜日）</p> <p>長期休み期間等に対応した事業の実施</p> <p>*中央公民館 実績件数：8件 実績内容：お豆腐作りに挑戦！、親子で紙すきやってみよう！、夏休み子ども教室「絵手紙をつくろう」、夏休み子ども映画会（2件）、春休み子どもお菓子作り教室、春休み子ども映画会、人形劇「ブレーメンの音楽隊」</p> <p>*堀江公民館 実績件数：14件 実績内容：環境講座（ガラスのかけらでアートしよう・牛乳パックが大変身・古布で裂き織りにチャレンジ）平和子ども映画会、陶芸教室、お菓子作り、料理教室、夏のおたのしみ会、クリスマス会、春のつどい、七草がゆとお汁粉作り（全て単発）</p> <p>*富岡公民館 実績件数：8件 実績内容：平和映画会、料理教室、エコバッグ作り、バルーンアート教室、トールペイント教室、ジーンズアクセサリー作り、茶道教室、フェルトマスコット作り</p> <p>*当代島公民館 実績件数：5件 実績内容：サイエンス教室、銀粘土で工作、平和映画会、陶芸教室、ワイヤーで作るアクセサリー教室</p> <p>*美浜公民館 実績件数：9件 実績内容：牛乳パックを使ってハガキづくり、子ども折紙教室、子ども絵手紙教室、子ども自然観察教室、ライスバーグきのこソースづくり、親子マジック教室、子ども絵画教室、子ども工芸工作教室、子ども夏まつり</p> <p>*日の出公民館 実績件数：8件 実績内容：夏の子どもの将棋教室、手作りカメラで写真を撮ろう、夏の子どもの陶芸教室、夏の子どもの環境講座1・2・3、夏休み子ども料理教室、夏の子どもの陶芸教室</p> <p>学校完全週5日制に対応した事業として、いずれも子どもの居場所づくり、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として各公民館で実施した。 長期休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業などを行い、長期休みの宿題にもつながるものとした。</p>					
平成21年度 事業予定と 今後の課題	子どもの居場所づくりのため、また、社会性を身につける機会とするため、21年度以降も同様の事業を計画していきたい。					

事業番号	63	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	<p>地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設です。健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。</p>				
	平成15年度実績	21回	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>中央公民館主催事業 実績件数：5件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、公民館合同家庭教育講演会（年1回）、中学校家庭教育講座（2回）、子どもの福祉を考える（1回）、家庭教育学級（幼稚園2学級、小学校1学級）</p> <p>堀江公民館主催事業 実績件数：27件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、家庭教育学級・2学級（幼稚園1学級・小学校1学級、毎月2回）、おひさまクラブ・前期・後期（毎月2回）、子育て支援講座（全5回）、環境学習講座（全6回）、親と子のずくぼんじょ・たけんこ（毎月1回）、夏のお楽しみ会・、クリスマス会・、春のつどい・、お弁当講座、環境講座（ガラスのかけらでアートしよう・牛乳パックが大変身・古布で裂き織りにチャレンジ）平和子ども映画会、陶芸教室、お菓子作り、料理教室、七草がゆとお汁粉作り・豆まきとお茶会、カメラ作り（単発）</p> <p>富岡公民館主催事業 実績件数：5件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、親子であそぼう富岡ひろば（年11回×2）、親子で楽しむわらべうたとえほんの会（年11回×2）、子育てリフレッシュ講座（全4回）、家庭教育学級（幼稚園1学級、小学校2学級）</p> <p>当代島公民館主催事業 実績件数：7件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、体育館一般開放（毎月2回、）梅雨どき親子向け体育館開放、芝生広場の開放（4～12月）、家庭教育学級・3学級（幼稚園2学級、小学校1学級）</p> <p>美浜公民館主催事業 実績件数：20件 実施内容：作ってみよう発泡入浴剤（1回）、牛乳パックを使ってハガキづくり（1回）、子ども折紙教室（1回）、子ども絵手紙教室（1回）、子ども自然観察教室（1回）、ライスバーグきのこソースづくり（1回）、親子マジック教室（1回）、子ども絵画教室（2回）、子ども工芸工作教室（1回）、子ども夏祭り（1回）、子どもサイエンス教室（1回）、レジ袋たこ作り体験（1回）、親子で缶嚮製作（1回）、親子手話教室（4回）、親子で野鳥観察（1回）、子どもクラフト・ポーリングにチャレンジ教室（1回）、親子ドレミ教室（5回×年2回）、子育て講座 完璧な親なんていない（6回）、家庭教育学級（幼稚園1学級、小学校1学級）、公民館文化祭（1回）、</p> <p>日の出公民館主催事業 実績件数：8件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、家庭教育学級（幼稚園1学級、小学校2学級）、おひざでだっこのおはなし会、3歳児のためのおはなし会、すくすくクラブ、親子で一緒にハッピータイム</p> <p>体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、安全管理者を配置することにより、遊びながらルールを身につけることを学ぶことができる。 17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。 子ども折紙教室では、折り紙教室参加者（60歳以上）が講師の補佐役となり、子どもたちに折り紙の楽しさを伝承するとともに、世代間交流を図れた。 家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開し、受講生が熱心に企画運営を行い、成果をあげている。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業、子どもの健全育成を目的とした事業では、遊びなどを通じて世代間交流が図れるよう引き続き実施していきたい。</p>				

事業番号	64	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	視聴覚ライブラリー
計画内容	<p>学校週5日制に伴い子ども事業の一環として子ども映画会を開催するとともに、視聴覚ライブラリーにおいて所有する16ミリ映画フィルムの紹介及び利用促進を図ります。</p> <p>平成15年度実績 15回開催 参加者数 1,216名 平成21年度目標 参加者数 1,800名</p>				
平成20年度 実施状況と評価	<p>完全学校週5日制に伴う子ども対象事業の一環として子ども映画会を開催すると共に、視聴覚ライブラリーにおいて所有する16ミリ映画フィルム等の視聴覚教材の紹介及び利用促進を図る。 平成19年度における開催回数の増加に伴い、事業の周知に力を入れた。 併せて上映作品の選定や開催方法に工夫をしたことで、子ども向けの事業として認知度が高まり、来場者が増加した。</p> <p>開催内容 子ども映画会 毎月第2・4土曜日（年24回）</p> <p>対象 小学生以下の子ども及びその保護者</p> <p>参加者実績 平成15年度 1,216名 平成16年度 920名 平成17年度 939名 平成18年度 839名 平成19年度 1,566名 平成20年度 1,879名</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>子どもたちに質の良い映画を見る機会を増やしてほしいとの市民からの要望に応じて、平成19年度から開催回数を月1回から2回に増やし、子ども映画会を実施している。 平成21年度においても、引き続き手作りポスターやチラシなどを作成し教育機関などに周知し、来場者の増加をめざす。</p>				

事業番号	65	事業名	放課後異年齢児交流促進事業	担当課	青少年課
計画内容	<p>子どもたちに安心・安全な遊び場を確保し、年齢の違う子どもがふれあうことを目的に、小学校で放課後に異年齢児童との交流促進事業を行います。</p> <p>平成15年度実績 4小学校, 40,368人 平成21年度目標 拡充</p>				
平成20年度 実施状況と評価	<p>学校施設を利用して「遊び場」を確保し、遊びを通じた異年齢児間の交流の促進することにより、児童の自主性・社会性を養い、健全な育成を図る。 ・市内5小学校にて実施（入船北、日の出、南、東、明海） ・平成20年度は延べ49,988人が利用</p> <p>平成19年度より、日の出小学校において「放課後子どもプラン」導入により学びの場も展開 「子育て支援」「青少年の健全育成」の両面から、良い評価を得られている。</p> <p>課題については、 学校の空き教室等を利用して実施しているが、人口増に伴い空き教室の確保は難しく、現在設置している小学校でも教室が不足する場合も考えられるなど、児童育成クラブとの関連も含めて、事業方法などを検討しなければならない。 全児童が対象であるが、対応するチーフ及びアシスタントパートナーの配置人員数など、人材確保を図ること。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>平成21年度は事業の有効継続を図りながら、利用者（保護者、児童）へのアンケート調査などを実施する予定である。数により、安全確保の検討が必要である。</p>				

事業番号	66	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施	担当課	青少年課
計画内容	ジュニアリーダー研修会を実施し、子どもたちの中心となって仲間づくり等に取り組む地域のリーダーを育成します。				
	平成15年度実績	32人	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>リーダーに必要な知識・技術を習得する中で、リーダーとしての資質の向上を図り、同時に青少年団体の活動の充実・発展に役立てる。</p> <p>目標 (1) 表現力を身につける。 (2) 受容力を身につける。 (3) 行動力を身につける。</p> <p>研修した内容を保護者の前で発表するなど工夫をこらしながらリーダー育成を図り、保面からも良い評価が出来ると考える。又、参加した子ども達は浦安市リーダーズクラブに加入する子もいるなど、各子ども会や学校など地域の中でそれらを活かして活動している。</p> <p>平成20年度研修会(全8回)の実施状況 参加者34名(男子7名、女子27名) 参加延人数 平成20年度末 延 297人</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	研修内容等の見直し				

事業番号	67	事業名	青少年相談員による健全育成活動の実施	担当課	青少年課
計画内容	青少年と一体となり、共に喜び、共に語り、青少年の相談相手になる青少年相談員を設け、その地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に取り組みます。				
	平成15年度実績	参加者 延べ680人	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の青少年健全育成の担い手である青少年相談員活動の充実を図る ・学校、家庭、地域との交流を図る <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけのこ掘り ・少年親善スポーツ大会(10人11脚・ミニバスケットボール) ・ブラックシアター製作、発表 ・子ども体験学習 ・青少年夏のキャンプ(1泊2日) ・(今後実施)少年スケート教室(1泊2日) <p>様々な事業を市内在住の小・中学生から募集し実施することで、子ども達や相談員間の交流も図れている。</p> <p>また、地域での活動に対しても積極的に取組んでおり、各地域においての健全育成推進役として、評価をされている。</p> <p>平成20年度参加者数 延 1,717人</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後も事業の充実に向け、青少年相談員連絡協議会と連携を図りながら青少年健全育成に努めていく。</p> <p>第17期青少年相談員の委嘱に向けて、新たな相談員の協力依頼を図っていく。</p>				

事業番号	68	事業名	青少年館活動事業の充実	担当課	青少年館																								
計画内容	<p>青少年が自主的に活動する居場所づくりを通して、青少年同士の交流や活動を支援します。</p>																												
	平成15年度実績	1か所	延べ利用者数 45,006人	平成21年度目標	1か所 充実																								
平成20年度 実施状況と評価	<p>青少年が自由に集まり、自主的に活動するいわゆる居場所づくりを通して、個々の自己実現を図ると同時に、青少年同士の交流と自発的な学習や趣味等の活動を行うため青少年館を設置している。平成19年度からは指定管理者制度を導入し、(財)浦安市施設利用振興公社が管理・運営している。</p> <p>体育レクリエーション、文化教養、環境、各種イベントなど興味関心を引き出すような事業展開を実施している。</p> <p>平成20年度利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>・開館日数</td> <td>302日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小学生</td> <td>10,616人</td> <td>中学生</td> <td>15,216人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高校生</td> <td>11,220人</td> <td>その他</td> <td>3,578人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>40,630人</td> <td></td> </tr> </table> <p>青少年館の主催行事を計画し、多くの子どもの参加を得ることができた。指定管理者となったが、変わらず多くの子どもたちの居場所として利用されている。青少年による運営委員会の活動が活発に行われるよう、積極的な運営を図る必要性がある。</p>					・開館日数	302日					・小学生	10,616人	中学生	15,216人			・高校生	11,220人	その他	3,578人						合計	40,630人	
・開館日数	302日																												
・小学生	10,616人	中学生	15,216人																										
・高校生	11,220人	その他	3,578人																										
			合計	40,630人																									
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>指定管理者の提案内容を確認しながら連携を図り、魅力ある青少年館づくりを行う。</p>																												

事業番号	69	事業名	青少年活動支援の推進	担当課	青少年課
計画内容	<p>市内にある子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、リーダーズクラブなどの青少年団体活動を支援し、地域において子どもたちの健全育成につながる青少年活動を推進します。</p>				
	平成15年度実績	市子連 1団体 子ども会 33団体		平成21年度目標	推進
平成20年度 実施状況と評価	<p>・補助金交付活動(浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会37団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ)</p> <p>・側面的な支援(様々な事業の手伝い及び後援)</p> <p>各団体とも自主的に地域に貢献する事業を展開しているので、良い評価と考える。</p> <p>各団体とも自主的に地域に貢献する事業を展開しているので、良い評価と考える。会員が集まらないなど、各団体とも思慮しているが、広報活動などを協力しながら支援していきたい。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>青少年健全育成を推進するにあたっては、青少年関係団体の協力を得ることが大きな推進力となっており、今後も連携を図りながら事業の充実に努めていく。</p>				

事業番号	70	事業名	青少年問題協議会の設置・開催		担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年の現状や問題を把握し、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策づくり、及び適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図るため、青少年問題協議会を設置・開催します。</p>					
	平成15年度実績	1回	平成21年度目標	継続		
平成20年度 実施状況と評価	<p>平成21年1月26日開催 議題 青少年の補導状況 青少年犯罪状況 第二期基本計画青少年課事業について 以上の内容で協議会を開催、関係団体等より意見聴取を行う。</p> <p>青少年問題の原因及び対応策を協議することで、今後の青少年の健全育成を図ることができる。 会議を公開として開催。</p>					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	平成21年度も同様に実施する					

事業番号	71	事業名	少年の広場の充実		担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年団体が野外活動を行う場を整備・提供します。</p>					
	平成15年度実績	1か所 90団体、4,181人	平成21年度目標	1か所、充実		
平成20年度 実施状況と評価	<p>青少年団体等の野外活動の場として、浦安市施設利用振興公社に委託し運営している。公社の自主事業により利用者への呼びかけを行っている。</p> <p>委託している施設利用振興公社による、野外活動の事業などを実施し、利用の推進を図っている。 また、市民の声に対してトイレや流し台を改善するなど、利用しやすい環境を整えるなどの改善を図った。</p> <p>年間利用者数 平成20年度末 4,064人</p>					
平成21年度 事業予定と 今後の課題	今後も利用者の声を反映しながら、効率的な運営を図っていききたい。					

事業番号	72	事業名	青少年交流活動センターの整備		担当課	青少年課
計画内容	<p>学校、25歳未満の市民が構成員の過半数を占める青少年団体、その他教育委員会が特に認める団体が利用できる宿泊型の研修施設を整備し、青少年の交流等の促進を支援します。</p>					
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営		
平成20年度 実施状況と評価	<p>指定管理者により運営管理を行っている。平成20年度より新しい指定管理者となり新たな提案内容において運営を実施、利用者からの評価も上々である。 4年目を向え、市民にも情報がいきわたり多くの人に利用されるようになってきた、特に日帰り利用におけるサークル等の活動が活発にされている。 青少年団体等が多く宿泊されるなど、青少年の交流の場、健全育成の場として活用されている。施設利用者のアンケートでも好評の意見が多く寄せられている。 イベント等についても、うららめーる祭りや育児講習会など、今までとはちがった内容の行事を実施するなど工夫がみられた。また、機関紙を発行するなどして市内の周知も図っている。 今後は宿泊利用を増員できるよう検討を図りたい。</p> <p>20年度利用状況 宿泊者 7,864人 日帰り利用者 28,452人 合計 36,316人</p>					
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後も指定管理者が提案内容に基づき、効果的な運営を続けていくよう協力しあいながら利用者増員に努めていきたい。 また、食事のあり方など検討すべきこともあるので、工夫をこらせばと思う。</p>					

事業番号	73	事業名	市民交流施設の整備		担当課	青少年課
計画内容	<p>主に中学生や高校生などの青少年が、芸術・音楽・文化をキーワードとして様々な活動に参加や体験ができ、またこれらの成果の発表が行える市民交流施設を整備します。</p>					
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営		
平成20年度 実施状況と評価	<p>青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分を新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開している。 (平成20年度) ・青少年対象の講座：23,303人参加 ・貸室利用状況：1,379人 ・青少年交流広場（フリールーム）：1,908人（実数） ・イベントは16回実施で850人</p> <p>サービス要求水準書に基づき実施されている。</p> <p>平成21年度未利用者目標 2万人</p>					
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>事業予定 平成20年度同様</p> <p>課題 青少年利用者の増加につながるような講座や行事の開催</p>					

地域での有害環境対策の推進

事業番号	74	事業名	警察や薬剤師会から各学校への講師派遣による講話の実施	担当課	保健体育安全課
計画内容	喫煙、アルコール、薬物使用の害に関する知識を学ぶ機会を設けます。				
	平成15年度実績	小学校8校、中学校4校	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>浦安市内の児童・生徒の顕著な問題行動は見られず、比較的落ち着いている。その中で薬物使用に関するものの覚せい剤等は全く見られず、喫煙が中学生に若干見られる程度である。これらは「薬物乱用防止教室」等による学校の取組の成果だと言えよう。</p> <p>学校の安全という点での防犯訓練・防犯教室は、社会状況も相まって20年度は計画的に実施されている。とりわけ、警察官による教職員への不審者侵入時の対応訓練では、各学校の防犯マニュアル作成・点検の上で大きな成果をあげている。</p> <p>また、学校間を越えた次のような取組も実施されている。</p> <p>健全育成連絡会における薬物乱用防止の講演や学校防犯の講演 インターネット犯罪防止のための各学校における千葉県警察本部サイバー犯罪対策室による講演</p> <p>以上のような各学校の状況に応じて実施されており、一律の目標を数値として掲げることは難しいと思われる。</p> <p>各小・中学校での薬物乱用防止教室における警察や薬剤師会による講演 小学校 12校・中学校 4校 計16校</p> <p>各小・中学校での防犯訓練、防犯教室における警察による講演 小学校 17校・中学校 8校 計25校</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	<p>専門的知識を有する講師を招き、児童・生徒への指導に役立てるために講演会を開催したり、直接指導してもらう機会を設ける本事業は、児童・生徒の健全育成を図る上で非常に有意義である。</p> <p>しかし、児童・生徒の状況は各学校によって異なっており、一律に設定することはできない。必要性・有効性についてはあらゆる場面で訴えるが、その計画については各学校の判断によるものとする。</p>				

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施	担当課	青少年センター
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>未成年の飲酒・喫煙には補導の際、見落とすことなく注意を促し、購入先が判明した場合は、販売業者に対面販売を依頼する。また、有害図書等の販売については、県青少年健全育成条例に沿った販売方法を呼びかける。</p> <p>未成年の喫煙は、世の中の禁煙の動きを反映し、ほとんど見られなくなっている。</p> <p>飲酒も夏の行事の時期を除いては極めて少なくなってきた。</p> <p>有害図書等の販売も、県青少年健全育成条例の浸透で適切な陳列、販売が行われていた。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	未成年の飲酒・喫煙については、今後も見過ごすことなく補導活動の際に注意を促していく。				

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施	担当課	青少年センター																
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。																				
	平成15年度実績	街頭補導による補導数	173人	平成21年度目標	充実																
平成20年度 実施状況と評価	<p>青少年センターが主催する月6回の中央パトロールや各中学校区で自主的に実施する地区パトロール（原則各地区月2回）、また、花火大会や盆踊り等の市の行事でのパトロールなど積極的にパトロールを実施している。</p> <p>20年度パトロール実施回数と従事者人数（平成21年3月末日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>中央パトロール</td> <td>66回</td> <td>延べ</td> <td>237名</td> </tr> <tr> <td>地区パトロール</td> <td>163回</td> <td>延べ</td> <td>1,160名</td> </tr> <tr> <td>特別パトロール</td> <td>14回</td> <td>延べ</td> <td>401名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>243回</td> <td>延べ</td> <td>1,798名</td> </tr> </table> <p>本年度も、通常のパトロールに加え、県下一斉広域列車パトロールを2回実施し列車内や駅での実態の把握を行うことができた。また、パトロール時に着用している白のポロシャツやジャンパー、蛍光色の帽子が浸透してきたようで、パトロールが防犯活動にもつながっている。</p> <p>パトロール実施回数 平成15年度(実績値) 314回 平成20年度末 431回</p>					中央パトロール	66回	延べ	237名	地区パトロール	163回	延べ	1,160名	特別パトロール	14回	延べ	401名	合計	243回	延べ	1,798名
中央パトロール	66回	延べ	237名																		
地区パトロール	163回	延べ	1,160名																		
特別パトロール	14回	延べ	401名																		
合計	243回	延べ	1,798名																		
平成21年度 事業予定と 今後の課題	花火大会や盆踊りパトロール等の特別パトロールをはじめ、補導員の一層の参加を求めていく。																				

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実	担当課	防犯課
計画内容	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動により、子どもたちが犯罪に巻き込まれることを防ぐ活動を展開します。				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	継続	
平成20年度 実施状況と評価	<p>市民まつりで啓発活動を行ったほか、夏季と年末に空き巣、ひったくりなどをテーマにした防犯キャンペーンを実施した。</p> <p>また、年間を通じて幼稚園、保育園、小学校、児童育成クラブにおいて児童連れ去り防止教室などを実施した。</p> <p>今年度も、地域と連携した児童防犯に対する活動が積極的に実施できた。</p>				
平成21年度 事業予定と 今後の課題	平成21年度においては、自治会やPTAなどが現在行っているパトロール活動を連携させることでより効果的、有効的な活動が実施できるよう支援する				